

米のいふ



本年も

お引き立てのほど

よろしくお願いいたします



明けまして

おめでとくござります



我が家の迎春

除夜の鐘の音が聞こえてくるともう間もなくです。



恵方に向かい

午前零時を合図に、井戸に行き恵方に向かい、『國常立尊（くにとこたちにもこと）さま、お水を一年間拝借いたします』と祈りつつ若水をくみます。

そして近くの恵方の氏神様におさご（神仏に供える米のおひねり）をお供えして参拝をしてから（ここまでは男でなければなりません）家族で成田山に元朝詣りにいきます。

12月吉日に申し込んでおいた護摩札を受け取り元朝詣りが終わります。初詣が済み、床につくのは午前4時ごろです。

手作りお供えは19組



朝8時ころ元日の遅い朝をむかえます。

朝一番の仕事はお供えの準備です。19組のお供えには、お神酒と、薄く切って焼いた餅を2切れお供えに乗せます。焼くのは私の役目ですが、お供えするのは主人の役目です。

男が主役・・・女子厨房に入るべからず

我が家では、正月のさんがにちは女性は台所に入りません。掃除もしません。女性は何もしなくて良い日なのです。台所は男の仕事です。さんがにちの朝食は、まずお神酒をいただき、初めにお汁粉から食べる慣わしです。 竜ヶ崎店 飯野洋子

恵方・・・その年の最も良いとされる方向
 若水・・・元旦に初めてくむ水。1年の邪気を除くとされ、この水で年神様への供え物や家族の食べ物を調えます

広がる穀物輸出規制・消える輸出大国

世界で進行する食料の輸出規制

ベトナムは台風の被害を受け、国内供給を優先するため7月に新たな米の輸出契約を禁じた。

ロシア
小麦・大麦の10～30%の輸出税導入(11月～)

ウクライナ
小麦・ライ麦・大麦の輸出規制(7月～)

カザフスタン
穀物輸出規制(検討中)

ベトナム 世界第2位の米輸出国
米の輸出規制(7月～)

セルビア
穀物・大豆の輸出禁止(8月～)

アルゼンチン
小麦の輸出規制(3月～)
牛肉輸出規制(2006年3月～)

インド 世界第3位の米輸出国
米・小麦の輸出禁止(10月～)
乳製品の輸出禁止(2～9月)

オーストラリア 米生産の断念
米の生産量激減
米の輸入国に

インドは年間400万トンを輸出する米輸出大国の一つ。10月上旬輸出を禁止。国内の消費者に十分な数量を確保するため。

オーストラリアは4年連続の干ばつで生産量が100分の1以下に激減。60カ国以上に輸出していたが、国内需要40万トンを満たすことができず、コメの輸入国に転じることが確実。

日本の品目別食糧自給率

(%)

品目別自給率	2006年度
米	94
うるち主食用	100
小麦	13
大麦・はだか麦	8
イモ類	80
豆類	7
大豆	5
野菜	79
果物	39
牛肉	43
豚肉	52
鶏肉	95
鶏卵	95
牛乳・乳製品	66
魚介類	52
うち食用	59
砂糖類	32
飼料用を含む穀物全体の自給率	27
主食用穀物	60
供給熱量ベースの総合食料自給率	39
資料自給率	25

日本の食料自給率は、主要先進国の中でも飛びぬけて低いのが現状です。(フランス129%・米国122%・ドイツ84%・英国70%・食糧輸入国のスイス49%)。1965年には73%だ

った日本の自給率は39%まで落ち込みました。もし米や小麦のうちに他の農産物も自国の都合で輸出規制がかけられたら・・・日本の農業はこれほど外国に依存したままでもいいのでしょうか。

美味しいお米の専門店
株太田屋
日本スローフード協会会員

営業時間 10～19時
定休日 月曜日
配達日 火・木・土曜日
TEL 247-3366
メール kome-ootaya@nifty.com
ホームページ ootaya.jp